

# 「とのまる通信」



とのまるくん  
(殿ダムイメージキャラクター)

発行：国土交通省中国地方整備局 殿ダム工事事務所 鳥取県鳥取市国府町宮下1221 TEL)0857-29-9570 FAX)0857-29-9612 <http://www.cgr.mlit.go.jp/tono/index.html>

## 殿ダム堤体

ダム完成後湖面となる  
水位のイメージの線

ほぼ  
**完成!**

完成直前  
湖底ファイナルウォークを  
行いました!

平成21年5月から始めた堤体の盛立工は平成22年10月に完了し、残りは堤体最上部の舗装や付替市道などの周辺整備のみとなり、中国地方で最大級の規模を誇るロックフィルダムの全体像がおおむね見られるようになりました!

そこで、10月31日に殿ダム水源地域ビジョン策定委員会が主催となり、完成直前の湖底を歩く「殿ダムウォーキング大会」が開催され、ダム完成後は水没し、入ることができなくなる湖底や、堤体頂上からの紅葉の始まった風景を堪能していただきました。  
そこで今回は、その時の様子と参加者の感想を織り交ぜ、現在の殿ダム周辺の様子をお伝えします。

鳥取市国府町は自然豊かな所です。この国府の自然に調和し、人々が憩える殿ダム周辺をこれからみんなで作っていきましょう。



殿ダム水源地域ビジョン策定委員会の木村肇委員長

じつと  
拾石から国分寺に移転して早や11年が経ちました。工事が始まってからは、あっという間にダムができましたが、それまでが長かった…。ダム建設の話が持ちあがったのが昭和25年。60年前の話です。わしも歳をとりました…。



移転者のお1人で、ウォーキング大会に参加された太田英夫さん

殿ダム完成後、湖底となる場所を歩く約600人の参加者たち

# 殿ダムウォーキング大会開催！

前日までの台風14号の影響が残る中、『殿ダムウォーキング大会』が無事に開催され、約600人がダム完成後に湖底になる所や、完成したばかりの貯水池横断橋、完成間近な堤体頂上など殿ダム周辺を元気に歩きました。

その時の様子と、参加者の感想をお伝えします。

こんな大きな規模のものを造るなんて、改めて人の力のすごさに感動しました！



あそこにたくさんタンブカーが止まってるよ！



重機が大好きな村中創良さんと達也さん



完成後、ダムの様々な設備を管理する『殿ダム管理棟』



準備体操を行った後、湖底となる場所から一斉にスタートしました。



完成したばかりの貯水池横断橋からの風景を堪能する参加者たち



河原から参加の松尾藍ちゃん一繁さん

こんな芝生の広場があるなら、孫も喜ぶな。今度連れて来よう！



なわしろ 楠城のふるさと広場

ダムができれば、今立っている場所が湖の底になるってどういうこと？ わからないけど、楽しく歩いてきます。



武田まなみちゃん・あかりちゃん・村尾英幸くん

サイクリングするのに殿ダムは最高！水がたまったら、また来たいです。



玉木哲也さん

石を盛立てて造ったダムは珍しいな！



高野昌純さん・山根信一さん

規模に感動！人の力に感動！とにがくすこい！水がたまったらまた見に来たいです。

## 堤体完成までの様子



殿ダム堤体を築く場所を強い地盤にするため、谷の両側と川底の面を硬い岩盤まで掘り進める基礎掘削を行いました。(撮影:H20年8月)



いよいよ盛立てを開始です。大型の重機で土砂を運び込み、敷き均して転圧をかけ、正確な管理のもと盛立てていきました。(撮影:H21年9月)

夜中も作業を行いました



地元の皆さんのご理解とご協力のもと、盛立て作業を24時間体制で行いました！

ダム表面の石は  
コンクリートで固めていると  
思ってたけど、固めてない  
ことに驚きました。

約18ヶ月でこの堤体の  
盛立てが完了したなんて、  
驚きです！

湖面に水が張ったら、  
さぞかしきれいだろうな！  
と想像しますが、  
移転された人のことを思うと、  
心が痛みます。

将来の子どもたちのことを  
考えつつ、ダムの利活用方法を  
考えていきたいです。



常田大貴くん・将貴くん・田中道春さん



拾石集落跡地に建立した石碑の前にて  
野田栄寿さん・竹下寿美枝さん・朝野千鶴子さん



地元中河原から参加の山田一孝さん・健介  
くん・しづえさん

上流側



水を貯める上流側

下流側



ダム完成後も見ることができる下流側

殿ダム周辺地図



この殿ダムウォーキング大会は、『殿ダム水源地域ビジョン策定委員会』で検討しているソフト施策のうち、先だって実施できる施策の中から選んで実施されたものです。今後、殿ダム周辺地域が**多くの市民の憩い・やすらぎの空間となり、地域の活性化に寄与する**よう、他の施策も含めて継続的な利活用が望まれます。



た!



徐々にダム堤体が盛り上がっていくのがわかるようになりました。ダム堤体は大きく3つのゾーンに分かれており、それぞれに適した材料を使用しています。(撮影:H22年3月)

平成のピラミッド!



高さ75mの堤体がほぼ完成しました!現在、工事用道路の土砂を取り除く作業を行っています。(撮影:H22年11月)

盛立て作業開始から  
約18ヶ月で  
ほぼ完成しました!



## 殿ダム工事関係者暴力追放協議会を開催！

平成22年9月13日(月)に殿ダム工事関係者暴力追放協議会を開催しました。

県警本部、鳥取警察署、(財)暴力追放鳥取県民会議、工事受注者、国土交通省の協議会会員ら約30名が出席しました。県警より注意事項などの講義があり、協議会会員がスクラムを組み、公共工事から暴力団等の反社会的勢力を排除することを再確認しました。



協議会の様子

## 殿ダムの高い品質をJICA (独立行政法人 国際協力機構) の研修生が視察

乾燥地における土地・水資源の適正管理と有効利用を目的に、アフガニスタン・アルジェリア・ザンビア・ブルキナファソ・イエメン・ケニアの6カ国から鳥取大学に短期留学しているJICAの研修生9名が、平成22年10月1日(金)に殿ダムの現場を見学されました。

まず、事務所で山田所長より殿ダムの概要説明を行いました。その後、ダム堤体の工事の状況を見学されました。盛立工の品質管理の説明に対して、研修生からは「情報化施工によるメリットは?」「実際にどのように品質を確認しているのか?」など日本の高度なダム建設の技術力について質問をされました。



工事現場にてダムの施工や品質管理の様子を見学されました

計画通りに進んでいます！  
毎日現場に行つて、品質管理や  
工事の進捗状況を確認して  
いますので大丈夫です！

品質や工期日程など、  
計画通りに進んでいますか？



6カ国の国旗を掲げてJICAの研修生をお出迎えしました

## 第2回殿ダム水源地域ビジョン策定委員会を開催

平成22年10月21日(木)に「第2回殿ダム水源地域ビジョン策定委員会」を開催しました。

今回の委員会では、まず、ワークショップでの意見をふまえて作成したビジョンの目標、基本方針と行動計画の柱(案)について審議していただきました。

次に行動計画の主な施策について審議し、委員からは「ウォーキング大会を定例化してはどうか」「取り組み内容をマスコミ等に取り上げてもらえればPRになる」「花木の植栽では四季を通じて楽しめるよう配慮する必要がある」などの意見がありました。

今後は、ビジョンの促進体制の仕組みづくりなどの検討を行い、「殿ダム水源地域ビジョン」を策定し、鳥取市長及び殿ダム工事事務所に提言することを確認しました。

ウォーキング大会を  
定例化してはどうだろう？

四季を通じて楽しめる  
花や木を植えては？



殿ダム周辺の利活用について話し合っていました